

## 株主ならびに投資家の皆様へ



**8期連続の増益で、過去最高益を更新。  
収益構造が大きく変わる今こそ、持続的な成長に向けて、  
事業基盤の強化を図りつつ、「新たな価値創造」に果敢に  
チャレンジしてまいります。**

米国のサブプライム問題に端を発した世界同時不況により、わが国も例外ではなく景気は深刻な状態にあります。そうした中で2008年度の当社の連結業績は、営業収益は減収となったものの、8期連続の営業増益を達成することができました。

移动通信市場においては、個人向け携帯電話市場の成熟と、通信料と端末価格の分離プランの浸透により端末販売台数の減少が顕著となる中、お客様獲得に向けた競争は激しさを増しており、これまでの収益構造が大きく変わる節目の年であったといえます。このような状況に対し、当社は、多様なお客様ニーズに対応した魅力ある商品・サービスの的確な投入により、好循環の事業サイクルを実現させるとともに、これまでも増してお客様満足度の向上に努めることが肝要と認識しています。

一方、固定通信事業においては、「IP化」「ブロードバンド化」への転換期にあり、自社でアクセス回線を提供する「直収化」を進め、コスト削減を図りつつ新たな収益源の確保に向けた取り組みを強化しています。

今や収益構造のみならず、日々の技術進化を伴って通信市場の構造自体が大きな転換期を迎えようとしています。市場の変化を先取りしたKDDI自らの変革こそが、新たな価値を創造し、より一層皆様のご期待にお応えすることに他ならないと確信し、果敢にチャレンジしてまいります。

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年7月

小野寺 正

代表取締役社長兼会長  
小野寺 正